

## 『コーヒーが冷めないうちに』 ～認知症チームとの関わりから～

皮膚科 和田康夫

### 【はじめに】

精神神経疾患とは無縁であった私が認知症に関わるようになったのは、今から3年前のこと。地域医療室のMSW西山君が認知症チームに入っていた。どんな活動をしているのか見学に行った。認定看護師、看護師、MSW、薬剤師、栄養士を中心に、細々とカンファレンスを開いていた。精神科医が療養中で不在となり、診療報酬加算がとれず、チームのモチベーションも低下しているように感じられた。せっかくの良いチームがもったいない。調べると、特別な講習を受けた医師がいれば加算がとれるらしい。札幌で2日間の講習を自費で受け、認知症チームに参加することにした。

### 【活動内容】

皆で共に学ぶ。新しいことは楽しい。西山君は全国自治体病院学会での発表。MSWとして取り組んだ3年間。受け身から主体的に取り組んでいる姿勢に力をもらう。私は認知症ケア学会での発表。MSW西山君と薬剤部清水さんと講演を聞く。精神科河上先生が一時復帰され、せん妄に使う薬剤について教を請う。精神科の薬について、効果や副作用を見てきたかのように語る。聞くと、研修医時代に、精神治療薬をそれぞれ自分で飲んで、効果や副作用を体感したという。実体験に基づいていることに感銘を受ける。

### 【展望】

MSW西山君、薬剤部清水さんは、いま新天地で活躍されている。故河上先生の遺志を引き継ぎ、スタッフと過ごした経験を胸に歩んでいきたい。

【資格】 認知症サポート医 第9106号